

保護者等向け評価表結果の報告

今年も保護者等向け評価表へのご協力ありがとうございます。保護者の方々から頂きました内容を掲載させていただきました。

アンケート調査は12月28日現在のものが中心となっております。

令和5年7月自己評価の時点におきましては、令和4年度の支援内容をもとに、児童発達支援の評価はさせていただきました。

令和5年12月におきましては児童デイこころ中田、児童デイこころ国府において児童発達支援の利用者様がいらっしゃらなかったため、放課後等デイサービスのみの報告とさせていただきます。

今回、皆様方から頂いた課題について職員一同で取り組んでまいります。今回のアンケート結果及び現在の状況から弊社が取り組んでいくべき課題をあげさせていただきます。

1. 事業所の設置等は、スロープや手すりの設置等バリアフリー化が適切に行われているか。
設置していない場所には職員が介助を行える体制を取っております。危険回避や体力面等も考え併せて必要個所の点検については今後も確認してまいります。
2. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。
感染症の問題等もありできにくくなっておりましたが、障害のない児童たちとの交流の機会を地域行事への参加や地域行事の広報、ICTの活用等も取り入れながら、自然な形で増やしていけるようにと考えております。
児童同士だけではなく、様々な機会の中で多くの体験を積んでいけるように支援してまいります。
3. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。
感染症の問題もあり保護者会や保護者参観の機会が減っておりました。今後、状況をみながら保護者会や保護者参観等を行ってまいります。またこれにつきましてもICTの活用ができればと考えております。
今後とも、保護者の方々や関係者の方々からの様々なご意見を頂ければと思います。
職員一同、よりよい指導が出来るように努めてまいります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和6年2月26日

株式会社 ケー・エム・シー
代表取締役 野木井 晃久